

# 令和2年度 社会福祉法人よしだ福祉会 事業報告

## 令和2年度事業報告（総括）

基本理念、基本原則に基づきながら、ご利用者やご家族、そして地域の皆様が、よしだ福祉会のサービスにご満足頂けるよう、その役割を認識し、役職員一丸となって法人経営に取り組みます。

各サービスの実施においては、各加算等の解釈を全体で共有しながら、利用者の満足とサービスの質の向上が図れるようコンプライアンスの推進を行うとともに、職員全体の処遇改善を図っていきます。

事業の実施につきましては、新型コロナウイルス感染症対策が最重要な課題となり、法人全体で「新型コロナウイルス感染症対策委員会」を設置し、ご利用者の皆様、ご家族の皆様、地域住民の皆様、関係機関の皆様のご協力を得ながら、法人全体でこの課題に立ち向かい、施設内での感染を防ぎながら事業運営を行うことができました。また、社会福祉施設職員慰労金の支給や、新型コロナウイルス感染症対応かかり増し経費補助金も活用しながら、サービス事業については休業することもなく順調に運営することができました。

私たちの職務はご利用者の皆様の命や生活を護るものです。大変な状況ではありますが、使命感をもってサービス提供をできるだけ継続していきたいと考えます。ご利用者の皆様をはじめ、ご家族の皆様、医療福祉関係機関の皆様、地域の皆様のご協力を賜りながら、感染症対策に努めていく所存ですので、今後ともご理解とご協力をお願いします。

## <令和2年度基本方針>

### 1. 基本的人権を尊重し個性を大切にしたサービスの提供

個別援助計画を見直し、コンプライアンスの確立と質の向上を図る。

サービスの自主点検を8月に実施し、以降は毎月定例でプラン検討会、請求チェックの会を実施し、ケアプラン点検、個別援助計画の3か月ごとの見直し、評価を行っていくことの意識付けが出来つつあります。

### 2. 地域づくりに積極的に参画する

シルバー大学を再開し、健康長寿の地域づくりと地域で活躍できるボランティアを育成する。

9月に新シルバー大学として再開しました。栄養・口腔、運動、社会参加の観点から健康長寿に大事なことを学ぶとともに、参加者の生活の見直しから介護予防に努めていきました。

参加者自身も出かけることが健康で長生きに繋がることを理解し、参加者が地域への声掛けを行うことでご利用者の増加につながりました。また、活動の一環として行事では食事作りを行うなどしていますが、今後は身近なところのボランティア活動を行うなど、地域での支えあい活動に広げていきたいと考えています。

### 3. 職員の人材育成

研修事業や目標管理、スキルアップ研修、キャリアアップ研修等で計画的に人材の育成を図る。

今年度もキャリアアップ研修を実施し、新たに3名の職員を正規登用しました。また、職員の目標管理、エルダーシップの推進は、係長、主任が中心となり取り組み、魅力ある職場づくりの核となるとともに、その結果は職員の定着へとつながっています。

働きながら学び資格を得る介護職員初任者研修事業は7年目となりました。今年度は雲南市、奥出雲町、飯南町で働いている介護職員だけでなく、ハローワーク経由での未経験者まで幅広く6名の受講者が集まり、雲南広域連合から補助金により受講者の負担も軽減しながら実施することができました。

また、令和2年度に介護福祉士実務者養成施設の指定申請を行い、令和2年12月2日に養成施設指定承認を受けましたので、令和3年4月から入学者の募集を開始する予定です。

### 4. 経営改善に関する事業

施設の整備を含めた経営計画を作成し、持続可能な法人経営に取り組む。

大規模修繕計画に基づき、第4期の大規模修繕を実施しました。

また、新型コロナウイルス感染症の対策とし、助成金を活用しながら環境や備品の充実など整備を行いました。

法人経営として、本部だけでなく部署間の隔たりなく経営を意識し改善に取り組むことができるよう毎月「請求の会」を開催し、問題の共有と改善を図りました。

### 介護サービス事業の年間実績の推移

